

## E 秋田市探訪 ～河辺・雄和編～（定員60名※）

会場：E1～4 河辺市民サービスセンター  
秋田市河辺和田字北条ヶ崎38-2  
E5～8 雄和市民サービスセンター  
秋田市雄和妙法字上大部48-1

趣旨：河辺・雄和の魅力をさまざまな分野から学ぶことにより、地域の将来についても考える機会を提供する講座です。

開講式：5/31（土）10：00～10：15

日	時	テーマ	講師
E 1	5/31 (土)	10:15～11:45 雄物川の舟運	秋田大学教育文化学部 教授 渡辺 英夫 氏
E 2		13:00～14:30 河辺地区の城館遺跡 ～豊島館・虚空蔵大台滝遺跡を中心に～	秋田県教育庁文化財保護室 主任学芸主事 高橋 学 氏
E 3	6/28 (土)	10:00～11:30 河辺の自然	あきた山の學校 代表 藤原 優太郎 氏
E 4		13:00～15:30 【バス移動学習】 河辺の自然と歴史	
E 5	7/26 (土)	10:00～11:30 秋田城への古代官道と雄和の昔	秋田市文化財保護審議委員 金 清一郎 氏
E 6		13:00～14:30 「大正寺おけさ」の三十年を想う ～掘り起こし、唄い継ぐだけでなく～	大正寺おけさ保存会 会長 珍田 智 氏
E 7	8/23 (土)	10:00～11:30 雄和が生んだ俳人・石井露月 ～その時代をたどる～	石井露月研究者 伊藤 義一 氏
E 8		13:00～15:30 【バス移動学習】 石井露月の足跡をたどる ～石井露月句碑巡り～ 高尾山周辺5基と露月庵書斎の見学など	

※E4・E8【バス移動学習】は、バス定員の都合により、50名で締め切ります。

秋田市内の様々な地域で開講してきた「秋田市探訪」は、今年度は河辺・雄和地域がキャンパスとなりました。移動学習を中心とする講座の様子について報告します。

6月28日（土）に行われたバス移動学習「河辺の自然と歴史」では、藤原優太郎氏が明治天皇が巡幸された街道や開拓の歴史が学べる石碑などを案内してくださいました。また、伏伸の滝では実際に川べりを散策して、透明度の高い水の流れを堪能できました。最後に見学した鶺鴒地区は、菅江真澄が紀行文「勝手の雄弓」にも描いている集落ですが、当時の様子が現在も残っているとされています。集落に住む方の話を実際に伺うこともでき、歴史の奥深さを実感できました。



E 4 講座 鶺鴒地区の散策

7月26日（土）から雄和での講座がスタートしました。「掘り起こし、唄い継ぐだけでなく」と題した、珍田智氏の講義では、大正寺おけさの伝承・復興にあたり苦労された話などを聞くことができました。保存会の方々によるおけさの披露もあり、最後にはアンコールの声がかかりました。



E 6 講座 大正寺おけさを踊る受講者



E 8 講座

露月の句碑の説明をする 伊藤 義一 氏

最終日となった8月23日（土）は、雄和出身の俳人・石井露月について、伊藤義一氏が講義をされました。午後からは、バスで実際に雄和地区にある露月の句碑巡りをしました。高尾山をはじめ露月の生家などを見学し、受講者の方々は当時の生活の様子を具体的にイメージしながら露月への理解を深めていました。